



認定NPO法人



四葉のクローバー

事業報告書 2024年度

運営理念

強く、優しく、くじけず、
あなたが自分の命と
心を守っていけるよう
私たちは家族同様見守ります

基本方針

①安全基地の提供（癒しと送り出し）
自立していく子どもたちの実家づくり

②成長、自立していく機会の提供
（失敗してもいい居場所）

子どもを受け入れて、その子なりの自立を援助する

③最後の砦として、子どもたちの自立を援助する場

立ち上げ経緯

2013年に児童養護施設退所者や、
社会的養護の必要な児童・若者を対象とした
シェアハウス事業（住宅支援・生活支援）
からスタートしました。

ご挨拶

理事長 杉山真智子

認定NPO法人四つ葉のクローバーは、2013年4月に法人登記し活動を開始して以来、今年4月で12年度目に突入しました。2024年度には大津市に2ヶ所のホームを増設できる運びとなり、これも会員の皆様や応援して下さった皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

私たちの団体の理念である「強く、優しく、くじけず、あなたが自分の命と心を守って生きるよう、私たちは家族同様見守ります」は、入所を余儀なくされる子ども・若者が社会に自立し、当たり前のように幸せになれる未来を目指すものです。彼らが社会に出た後、心が傷つくことなく、自分の価値を理解し、地域に貢献できる大人に成長する姿を見守りたいと考えています。

しかし、政府やメディアが児童虐待防止対策を広報・啓発しているにもかかわらず、虐待が減らないのはなぜなのでしょう。 「日本は児童虐待に関する法律整備が不十分である」「連れ子が標的となる」「社会環境の悪化」「虐待の連鎖」などが一般的な理由として挙げられます。当事者にとって、虐待トラウマは「見えない傷」として生き続けるものであり、当法人の使命は「虐待の世代間連鎖を防ぐこと」と「地域社会への啓発」を継続することでもあります。

令和5年度における滋賀県の児童相談所及び市町への児童虐待に関する相談対応数は8,568件に達しました。具体的には、虐待の種類として「心理的虐待」が3,467件、「身体的虐待」が2,668件、「保護の怠慢ないし拒否（ネグレクト）」が2,357件、そして「性的虐待」は76件となっています。また年齢別では、「小学生」が202件、「高校生・その他」が172件、「3歳～学齢前児童」が109件、「0歳～3歳未満」が93件、「中学生」が91件です。しかし、一時保護された後に児童養護施設などの社会的養護に措置されるのは年間100名にも満たず、多くの子ども・若者は家庭や地域に戻っていません。

2021年から平和堂財団・故夏原平和様からのご支援により、「マザーホード居場所」を開設しています。「家でもない、学校でもない、職場でもない 自分らしくいられるサードプレイス」として、居場所を求める若者に開放しています（2025年度は木曜のみ閉館）。若者が地域に相談できる大人がいることを知り、勉強、ゲーム、ギターを弾いたり、たわいのないお喋りや一緒にご飯を食べることで信頼関係を築いています。なお、家族で食卓を囲む習慣がなく、学校給食だけで育った若者が多いのも現実です。給食代の未納で給食が食べられなかった経験を持つ若者もいました。そのような環境では、「ポテトチップス一袋とコーラ」で空腹を満たすことが常態化し、エネルギー不足から学校や仕事を休む悪循環が生じていることもわかりました。このような状況は、虐待の後遺症とも言える「食への関心の薄さ」を顕著に示しています。当法人の各ホーム職員は、「栄養をとる」ことだけでなく「食を共にすること」を大切に、擬似家族として心が通い合う瞬間が訪れることを願いながら、日々奮闘しています。

2025年度も引き続き皆様の応援のほど宜しくお願いいたします。

団体の あゆみ



四つ葉のクロバードリームライブ



若者たちの自立を助きたい



NPO法人四つ葉のクロバードリームライブ
2016
「僕らの夢は普通で元々ねん」



クロバードリームライブ2017
生きてきた想いを伝えたいんだ



NPO法人四つ葉のクロバードリーム
設立記念フォーラム



2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

- ・ 2013 設立記念フォーラム開始
- ・ シェアハウス事業スタート
- ・ NPO法人四つ葉のクロバードリーム設立
- ・ 2014 四つ葉のクロバードリーム周年記念イベント開催
- ・ 施設中学生の職場体験を実施
- ・ 就労支援「餃子屋 竹の子」(現在終了)
- ・ クロバードリームライブ2014開催
- ・ 2015 施設高校生アルバイト受け入れ
- ・ 就労支援「餃子屋 竹の子」
- ・ 認定NPO法人および自立援助ホーム認可
- ・ 2016 施設が困難な若者に中間的就労の場を提供
- ・ 就労支援「餃子屋 竹の子」
- ・ 「フリースペースあす架」スタート(現在終了)
- ・ 四葉のクロバードリーム周年イベント開催
- ・ クロバードリームライブ2016開催
- ・ 2017 「フリースペースあす架」スタート(現在終了)
- ・ 四つ葉カフェ事業スタート(現在終了)
- ・ 生きる力セミナー開催
- ・ クロバードリームライブ2017開催
- ・ 2018 月2回養護施設出身者等に定期的な食事会を開催
- ・ 四つ葉キッチン(現在は若者食堂)
- ・ 外部相談窓口開設四つ葉カフェ内(現在終了)
- ・ クロバードリームライブ2018開催
- ・ 2019 自立支援の一環として一人暮らし体験の場を提供
- ・ ステップハウス事業スタート
- ・ クロバードリームライブ2019開催
- ・ 「餃子屋 竹の子」県内施設イベント出店



2020

2021

2022

2023

2024



- ・『社会貢献賞』表彰
- ・公益社団法人社会貢献支援財団
- ・里親ファミリーホームの子どもたちの餃子作り体験
- ・夏休み企画！ギョーザづくり体験
- ・「見えない傷と生きていく」放送
- ・NHK 目撃！につぼん
- ・滋賀県地域擁護推進協議会との連携開始
- ・緊急シエルターの提供（退所者対象）
- ・就労体験プログラム実施（退所者対象）
- ・「希望の学び舎」開始
- ・内閣府『女性のチャレンジ賞』受賞
- ・学習支援・資格取得支援の実施
- ・「希望の学び舎」開始
- ・児童養護施設等高機能化 多機能モデル事業
- ・NPO法人四つ葉のクローバー設立10周年
- ・自分らしく学べる場所自分らしさを作り出す場所
- ・「よつばLABO」スタート
- ・「シェアハウス奏kanade」開所（滋賀県内・男子ホーム）
- ・よつばLABO展示会 and 映画上映会
- ・「ほくたちの通過展」開催
- ・滋賀県内にて上映会を実施
- ・社会的養護出身の若者たちの声を紡いだ一本の動画
- ・ドキュメンタリー映画「On My Way」制作
- ・みんなの声をきかせてシンポジウム開催
- ・日本子ども虐待防止学会 滋賀大会 シンポジウム実施
- ・クローバードリームライブ2023開催
- ・就労支援事業「よつばワーク」実施 真如苑助成事業
- ・「よつばサロン」スタート ママとキッズの居場所
- ・「シェアハウス碧aoi」開所（大津市・女子ホーム）

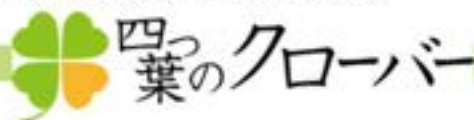
児童自立生活援助事業 自立援助ホームの運営

自立援助ホームとは、何らかの理由で家庭に居られなくなった子どもが自立に向けた準備・練習をする施設です。安心安全に生活できる場を提供し、大人との信頼関係を通して社会で生き抜く力を身につけ、子どもたちが経済的にも精神的にも自立できるように援助することを目的としています。

これまでは原則15歳から20歳（場合によって22歳まで）の若者が利用する施設でしたが、令和6年4月から施行された児童福祉法改正法では年齢制限が見直され、支援が必要と判断する間は対象者が自立に向けた援助を受けることができるようになりました。

当法人は3つのホームを運営しており、これまで54名の若者が入所してきました。（全ホーム合計/令和7年4月10日時点）

ホームに帰れば必ず大人がいる、気軽に相談できる、そんな環境を大切にしています。



シェアハウス夢コート

2013年～
守山市
定員男女9名



シェアハウス奏kanade

2024年～
大津市
定員男子5名



シェアハウス碧aoi

2024年～
大津市
定員女子6名

自立援助ホーム

共通ルール



・利用料

高校生、大学生：本人の負担なし

社会人：3万円（退所時の費用として貯蓄し本人に返還）

*令和6年度より、自立援助ホームの生活の質の向上を図るため、措置費における自立援助ホームの生活費が引き上げられました。よって、当法人の運営するホームは本人による利用料の負担はありません。

・門限

午後11時（未成年、成人に関係なく全入居者が対象）

*滋賀県青少年の健全育成に関する条例に則り、午後11時から午前5時までの外出を禁止しています。

・タイムスケジュール

ありません

*高校生、大学生、社会人が入居する中で生活リズムや帰宅時間がバラバラなため、夕食も各自のタイミングで食べます。



・食事提供（希望制）

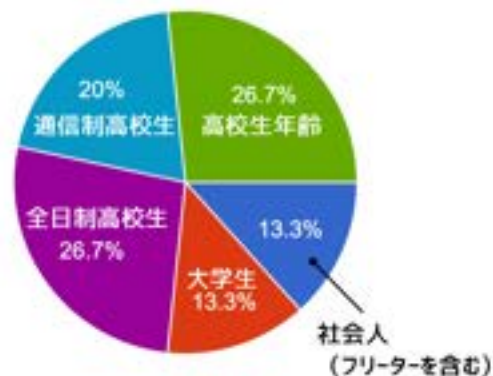
朝・昼食(お弁当を含む)：月～金曜日

夕食：月～金+日曜日

*基本的に祝日も含みますが、年末年始やゴールデンウィーク等、イレギュラーな時もあります。

2024年度に入所している若者の現状

区分



- 高校生は全体の **46.7%**
- 高校生年齢 (15~18歳) は全体の **73.4%**
- 学生は全体の **60%**

入所経路



- 家庭から入所は全体の **60%**

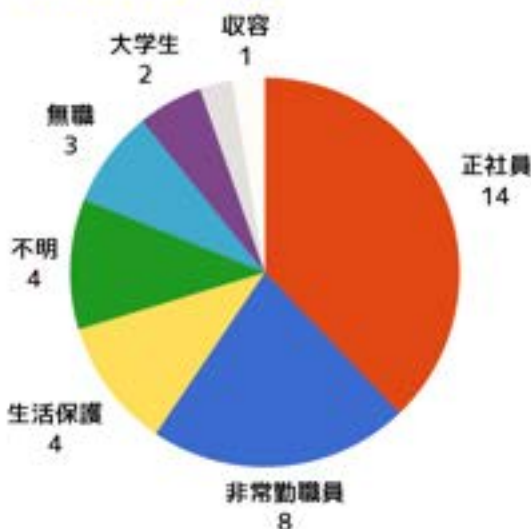
入所してから



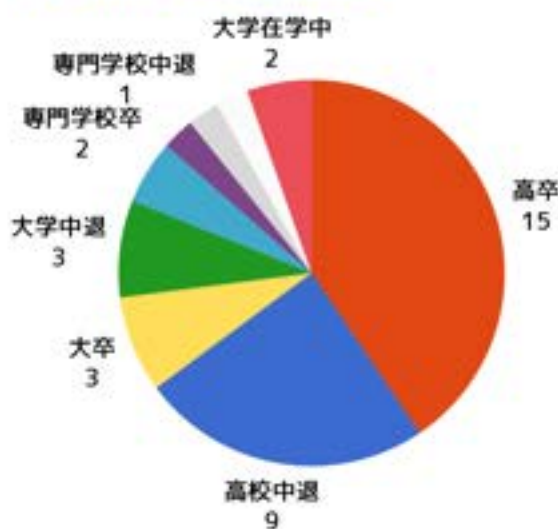
- 1年~1年6ヶ月未満
- 1年6ヶ月~2年未満
- 2年~2年6ヶ月未満
- 2年6ヶ月~3年未満
- 4年

退所した若者の現状

退所者37名



退所時の最終学歴



多くの方が、高校に進学できなかったり、高校を中退した状態で入所します。

学歴・学びの機会の保証もまた、自立援助ホームの重要な役割の1つです。

退所時、最終学歴が高校中退であった入居者の中には、退所後のかがわり (アフターケア) で高校進学のための支援を行ったり、高卒認定試験合格に向けての支援を行ったりして、資格を取得している者もいます。

食べる事を大切にしています

10代後半から20代の若者にとって食事はとても大切です。しかし、食事に無関心な若者も多く、「好きな食べ物？」と聞かれたら「あんまりない」と答えたり、嫌いな食べ物が多かったりします。

栄養が偏らないように気を遣うことはもちろんですが、旬の食材を使ったり、国際料理や季節のイベントごとのメニューを加えたり、楽しく食事する工夫をしています。

また、食事は職員が取りわけ、その際に、「これくらい?」「おかわりいる?」といった、若者とスタッフの些細なコミュニケーションも大切にしています。



シェアハウス 夢コート

あたたかく、ゆめといきる
Yume court

2013年に開所して2025年4月10日時点で計46名の若者が入所しました。月に1回真夜中会議を開催し、みんなで食事をする時間と学びの機会を設けていることが夢コートの特徴です。

01. ご挨拶

この1年も、大学生活を楽しむ姿、進学・復学を目指し勉強に取り組む姿、就職に向けてアルバイトに勤しむ姿だけでなく、自己確立に悶々とする姿、ゲームにのめり込む姿など、様々な子どもたちの姿が見られた。スタッフは、目標を見つけ着実に歩む姿に安堵する一方、緊急を要する事象に憂慮することもある。施設運営の日常は、悲喜交々である。

子どもたちの目指すもの、選ぶ道、そこへの歩み方も一様ではない。時に、横道にそれたり、脱落もある。その都度スタッフは、子どもとの対話を介し気持ちを尊重し丁寧に対応する。この対等な信頼関係を通じて、子どもたちの「受援力」(SOSを発する力)を育てている。また、地域社会に一步出れば、誘惑も多い。退所した子どもたちにはアフターケアとして継続的な支援も続けている。

地域の皆様には、子どもたちの置かれた状況をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

シェアハウス夢コート 施設長 森本 美絵

02. 入居者の声

入所当日に初めてルーローハンを食べた。美味しくて、ここでの好きなメニューになった。家にいた時はバイトも禁止でお金も無かった。行動制限もあって門限も17時で友達と遊べなかったけど、ここに来てからバイトでお金を稼いで初めて友達とUSJに行けた。あとは、通信制の高校に転校できて、学校生活を送りやすくなった。今後は一人暮らしに挑戦できるように頑張りたい。でも整理整頓が苦手やな…。



真夜中会議

月に1回、真夜中会議を開催しています。ネーミングのきっかけは、当時入居している若者たちで問題が起こった際、全員が集まるために仕事や塾などの帰りが遅い仲間を待ってから始めたことがきっかけです。

一人暮らしをする時に知っておいた方がいいこと、若者に身に付けて欲しい知識、若者が話したいことなど、毎月テーマを決めて開催しています。普段のご飯の時間を決めていない分、皆で食事をするという真夜中会議の時間も大切にしています。

03. スタッフの声

- 今年度から四つ葉のクローバーの職員の一員となった。前職で福祉の仕事の経験はあったが、この年齢ならではの人間関係の築きにくさにどのように関わったら良いかを日々考える1年であった。



真夜中会議の内容例

【4月】子どもの権利条約
聞いたことある、でも意外と知らない「子どもの権利条約」について、絵本や動画を題材にみんなで話し合いました。

【5月】クレジットカードとリボ払いについて
17歳前後の入所が多いため、クレジットカードの危険性を学ぶ機会を設けました。

【10月】もしもの時の避難の仕方
いつ、どんな災害が起こるか分からない中で避難の仕方をイメージすることはとても大切です。夢コートにある避難椅子の紹介等を行いました。

「和やかな空間、朗らかな心で、日々を生活する」
そのためにも行き届いた掃除、環境を整えることに力を入れています。

01. ご挨拶

当法人は、守山市に既設の自立援助ホーム「夢コート」に加え、昨年3月に「シェアハウス奏kanade」及び「シェアハウス碧aoi」の2ホームを大津市に開設いたしました。その後1年を経過し、法人内他施設との連携やスタッフの布陣などの新たな課題に取り組み組んでまいりました。ホームの運営にスタッフ全員の力を合わせることで、現在では利用者の若者の生活をより安定した形で支えられるようになってきています。

この間私どもが向き合ってきたのは、就学・通学、就業を含めた自立に向かう彼らの苦悩や努力です。それは各個人の生き方を映す色合いを持つものですので、これまでも・これからも、その個別性に応じた有益な支援を整えていきたいと、施設長含め職員一同心しています。

シェアハウス 奏kanade 施設長 宮脇 宏司

02. 入居者の声

金銭管理ができず苦戦していたがスタッフの方が試行錯誤しながら支えてくださり少しずつですが管理ができるようになってきました。

イベントなどで色々な所にも行けて楽しい体験もできました。

03. スタッフの声

- 日々の暮らしの中で若者の成長を感じる事が嬉しいです。
- 皆さんが気持ちよく過ごせる様に日々気をつけてます。



一般社団法人 篠原欣子記念財団様より助成をいただきました♪

入居する若者の希望聞き、長浜市や東近江市を巡るびわ湖1周の旅を奏ホームで企画しました。「滋賀の魅力再発見！」とタイトルを決め、改めて故郷・滋賀の魅力を感じようと観光地や映えスポットを巡り、滋賀が誇る近江牛を食べました。

幼いころの楽しかった記憶がよみがえったり、サンドブラストでオリジナルグラスを作ったり、のんびりとした休日を過ごすことができました。

天気も良くて
ドライブ日和でした



近江牛の
ビーフシチューが
美味しかった



ずっとやりたかった
体験活動が
できてうれしかった



一軒家で、とてもアットホームな雰囲気です。
リビングでは、ソファに座ったり床に寝転がったりしながらテレビを見て、くつろぐ姿がよく見られます。入居者同士の交流も盛んです。
中庭には人工芝が敷いており、全体的に開放的な空間です。

01. ご挨拶

昨年度4月よりスタートした碧で、職員及び利用者双方の数々の葛藤や関わりの中、何とか1年目を無事終えることができました。現場の職員の皆様には心より感謝を申し上げます。答えの無い日常を、皆で頭を悩ましなが、時には対立し、右へ左へ奔走したような1年でした。職員全員の根本にある「この子のために」という熱い思いを受け止め俯瞰し、数々のドラマを近くで見させていただきました。若者たちもまた、自身の思いを自身の言葉で語り、その言葉の中には、若者たちの願いや希望そのものが見え隠れするようでした。決して諦めない職員と共に、避けては通れぬ高い高い壁に向かって日々を生きる若者たちが、少しずつ希望を、安心を、生活を取り戻し回復する姿に、感動を覚えました。職員も若者も、双方の自己理解を深めながら、笑顔の絶えない碧になることを心から信じています。

シェアハウス 碧aoi 施設長 久保 恵二

02. 入居者の声

- ガチ家なのでだらけてしまう。
駅からも近くて便利。
- ここに来て本当に良かった。
話聞いてもらえるのが嬉しかった。
ご飯も美味しい。
- ここにいるのは恥ずかしいことやと思ってるけど、自分の部屋があるのがうれしい。

03. スタッフの声

- もがいたり、休んだりしながら、前を向く姿が愛おしいです。
- これ美味しいと言ってもらえると工夫しながら作った甲斐がありニヤけます♪
- ぶつかる時もありますが、傍で支援できることがありがたいです。
- 自分の常識を覆される、新鮮な時間を過ごせています。



たくさんの思い出ができました。心より感謝申し上げます。



2025年3月に大学を卒業！
本当におめでとう！



紅葉ライトアップ
きれいだった～



キャンドルづくり



皆でNHK放送局見学！
朝ドラの撮影現場を見ました



焼肉ランチ美味しかった(♡)



メロンをいただきました！
美味しい！ハッピー！



陶芸体験
たくさん作ったね～



ガラス職人



書初め 今年の抱負は

貫初志
徹志



真夜中会議で勉強会



よつばワーク出店！



いただいた立派な鯛！
自分達でさばく！

四つ葉食堂



鉄板焼き
最高！



クリスマス
パーティー！
でっかいピザと
でっかいチキン

若者が作った
鯛飯と煮つけ。



キムチギャラリー様より
釣ったばかり！
超立派な鯛を
届けていただきました！

権原欣子記念財団様の助
成金より、お菓子を購入
させていただきました！

韓国本場の味
チャプチェと焼き豚



ホーム長お手製
ローストビーフ



大人気から揚げ定食



話題のルーローハン



甘辛青椒肉絲

出汁香る
アクアパツァ！

みんな大好き
チーズハンバーグ



一人暮らしに向けて
さらにステップアップ



新生活

社会に出る自分を
イメージする

ホームには10代後半まで適切な養育環境で生活できていない可能性がある若者が多く入所します。虐待を受けた若者の多くは、安心できる環境に移ったからといって安定するわけではありません。虐待の影響によるトラウマ反応や精神的な崩れなどが起こり、日常生活を送ることが困難になるケースも少なくありません。当ホームの平均入所期間は1年8か月となっており、彼らはホームにずっとは居られないという現実と向き合い、短期間の中でもがいています。入所中と退所した後の生活のギャップをできるだけ小さくし、自立の力と自信をつけるためにステップハウス事業を行っています。

ステップハウス

コネクトハウス

法人が契約した賃貸アパートを、短期的な一人暮らしの住居として若者に提供しています。施設支援の下では感じられない一人暮らしの達成感や困り感を通して自身の課題を発見し、失敗もしながら課題改善に取り組むことのできる場としています。

光熱費の支払いについては、個人の課題や状況に応じて適切に設定しており、金銭管理・調理など生活に係る支援についても、対象者の自立の段階に合わせて行なっています。

様々な事情により一時的に居住場所に困っている若者を対象に、生活保護や色々なネットワーク支援に繋ぐまでの間の生活の場を提供しています。

また、シェルターや緊急一時保護として利用することもあり、令和6年度において7件の利用がありました。当ホームにおいても、シェアハウス夢コートおよびシェアハウス碧aoiがシェルター利用可能となっています。

改正児童福祉法では「地区町村における子育て家庭への支援の充実」として

「子育て短期支援事業」及び「一時預かり事業」の拡充が挙げられています。

こども自ら入所・利用を希望した場合の入所・利用を可とする動きが見られ、子育ての

負担を軽減することを目的としてレスパイト利用等が可能である旨が明記されています。

そういった社会的な動きもあり、短期利用というスタイルも視野に入れた支援が必要だと考えます。

何時に寝て何時に起きてもお怒られないけど、窓拭きやスケジュール管理、物の管理が自己責任になりました。他にも隣人への生活音を気にしたり、大変なこともあります。でも、部屋のレイアウトや今日の気分ですぐに自由を決められるので楽しいです。一人だと寂しさも感じるので、動物飼いたい。(笑)



退所した若者たちに引き続きアフターケアとして『生活相談』『就労相談』『同行支援』などのサポートを行っています。退所後の若者たちが困った時に「困っている」とSOSを発信する相手がいることで、問題の早期発見や状態の悪化を防ぐことができると考えています。公的機関など普段から繋がりが無いところへ若者たちがSOSを出すことは非常に難しいため、繋ぎ役として自立支援担当職員が関りを途切らせないことで、本人の更なる自立をサポートします。



生活相談/支援



就労支援



場づくり



助成金情報

アフター実績

対面支援	130件
電話	約200件
LINE	約1,000件
同行支援	22件
関係機関	33件
その他	4件

主な業務内容

- 医療受診同行
- 他機関連携
- 医療連携
- 生活困難相談
- 就労支援（探す・就く・継続する）
- 生活相談（買い物・掃除・人間関係等）
- 誕生日お祝い
- 安全確認
- 引っ越し相談・住居探し
- 家族とのやりとり



担当者の声

アフターに関わり始めて1年。
卒業生たちが困った時に（そうでなくても）
SOSを出せる場所の大切さを日々感じています。
すぐには飛んでいけなくても、連絡してもいい場所が
あることで少しでも安心して
過ごしてほしいと思っています。

利用者の声

学校に復学することを相談させてもらって、
真剣に考えてくださった。また使える制度など
についても教えてくださり、大変な時に相談に
乗ってもらい一緒に学校や市役所に行ってもらえて
とても助けてもらった。無事に卒業することが
できてとても感謝しています。



家でも学校でも職場でもない
「自分」らしくいられる
サイドプレイス

Mother Board事業

よつばLABO/よつばSALON/若者食堂

「施設を出たあとで気軽に帰れる場所はあるの？」の一言から始まった
“滋賀ならではの地域養護事業”

Mother Board

この活動は、平和堂財団様より古いビルの1階と2階の改装資金をいただき、スタートしました。
現在も2階の家賃をご負担いただいております。

よつばLABO



アートとスタディ

若者たちの交流と学びの場。
資格取得等の実学教育も実施。

よつばSALON



ママとキッズの居場所

親子の育ちを支える地域親子
支援を毎週水曜日に設ける。

若者食堂



月に一度、地域の若者、子ども
ファミリーが集い、食事をしたり
季節ごとの行事をしたりする。

利用実績

よつばLABO&よつばSALON

月別利用件数

○4月 67件 ○10月 86件
○5月 91件 ○11月 75件
○6月 112件 ○12月 36件
○7月 101件 ○1月 49件
○8月 92件 ○2月 60件
○9月 95件 ○3月 70件

よつばLABOイベント参加者実績

月別参加者数

○5月&6月
「Mr.マット&Mr.ダンと
Englishボードゲーム大会」 16人
○8月「逃げ活」10人
○9月「スポーツ大会」17人
○11月「BBQ」20人
○3月「スポーツ大会」15人

若者食堂

月別参加者数

○4月 20人 ○10月 15人
○5月 16人 ○12月 16人
○6月 24人 ○1月 13人
○8月 17人 ○2月 15人
○9月 11人

Mother Board

令和6年度活動写真集

アート&スタディ よつばLABO



絵画制作や編み物、楽器演奏
などなど・・・
「やってみたい！」
「好き！」を通して
自己表現活動をしています。

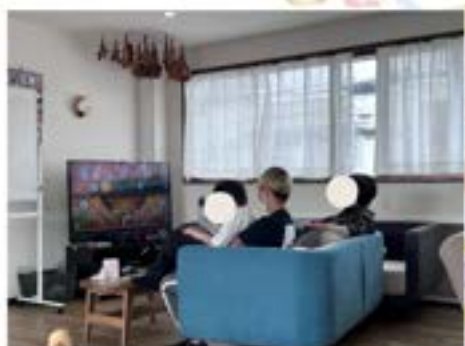


ALTの先生をお招きして
レッツEnglish！英語に触れながら
様々なボードゲームをしました。

自殺予防を推進する団体から
依頼を受け「逃げ活」イベントを
開催しました。



居場所の日はゲームをしたり、テレビをみたり
料理を作ったり・・・
自分の好きなことをして自由に過ごしています。



ママ&キッズの居場所 よつばSALON



子育て中のママが、ほっこりと息抜きをして過ごしたり
スタッフに悩みを相談したり・・・
その傍らでキッズたちが
元気いっぱい過ごしています。



若者×キッズ&ベビー
「かわいい!」「抱っこしたい!」
「癒される～」
若者たちにとっても、大切なふれあいの
時間になっています。



地域の若者が集う 若者食堂



月末に集まり、ランチを食べたり
季節ごとの行事を
みんなで楽しんでいます。



年に2回は、体育館を借りて
みんなでスポーツをしています！

成人を迎えた若者の
振袖着付け&撮影会を
開催しました♪

担当者の声

「マザーボード」はパソコンの土台とも言える大切なパーツのことです。その名の通り、私たちの「マザーボード」も赤ちゃん、子ども、ママ、そして若者たちがいつでも気軽に来れる大切な心の居場所になっています。



Instagramアカウントは
こちら



@YOTUBALABO

自立援助ホーム

ALL 滋賀

滋賀県自立援助ホーム連絡協議会は、県内の自立援助ホーム同士が協力しながら、不適切養育を受けた子どもたち、制度や法律の狭間にある社会問題や課題により厳しい状況にある若者たちに対し、安心・安全と信頼を基軸とした人間関係が構築できるよう、将来に希望を見出すことができるように「オールしが」で子ども・若者に伴走し支えています。

守山市
夢コート

大津市
奏ホーム

大津市
碧ホーム

高島市
みんなとみなと

長浜市
ななほし

彦根市
ひこね

彦根市
もみじ

日野町
LASO日野

みんなとみなと

高島市マキノ町 電話番号 0740-20-9043 【定員】女子6名

【特徴】

『みんなとみなと』は、入居者が自立するまでの居場所です。航海する船が港に立ち寄り、必要なものを準備し、大海原に出航出来るかのように、入居者の人生としての『みなと』でありたいと名づけました。

建物は3階建てで、1階の共有スペースのリビングではソファやテレビがあり、入居者みんながくつろげる空間にしています。また、居室は一人部屋で、一人で過ごす時間も大切にしています。

【大切にしていること】

- ・入居者にとって安心安全な暮らしを確保すること
- ・自立に向けてのエネルギーを十分に充電してもらうこと

- ・門限 22時
- ・携帯電話 条件付きで可能
- ・外泊 要相談、条件付きで可能



ななほし

長浜市内 電話番号 0749-51-9125 【定員】男女6名

【特徴】

『ななほし』は、七色それぞれにか輝く虹も、てんとう虫も幸せの象徴であることから、入居者の幸せを願い名付けました。

アパートの一角を利用しているので、一人暮らしをしているイメージで生活できます。周りには飲食店やお店も多くアルバイトなどもしやすい環境です。

共有スペースでは、食事をしたり、テレビを観たり、畳のお部屋でゴロゴロしたり、スタッフと相談したりできるようになっています。

【支援の内容】

自立していくには何がが必要なのか、どうしていけばいいのか、コミュニケーションをとりながら計画を立てていきます。

その上で、金銭管理や、家事、生活リズムなどを身に付けていきます。

【大切にしていること】

入居者との信頼関係を築けるようにコミュニケーションを大切に、安心して過ごせるお家となるようにと考えています。また、希望するレクリエーションを行って日常の中に楽しい時間も過ごせるようにしています。

- ・門限 23時
- ・携帯電話 条件付きで可能
- ・外泊 条件付きで可能



現在、滋賀県の自立援助ホームは、
8施設となりました。

「オールしが」実現に向け、毎月定例会議を開いています。当法人は、
滋賀県自立援助ホーム連絡協議会本部
を担っています。



ひこね（男子ホーム）

もみじ（女子ホーム）

ひこね 彦根市平田町 電話番号 080-7174-4729 【定員】男子6名
もみじ 彦根市戸賀町 電話番号 080-4327-7404 【定員】女子6名

【特徴】

自立援助ホームひこね・もみじは滋賀県の彦根市にあり就学、進学に便利な立地にあります。様々な事情を抱えた子どもたちが就労、就学をしながら職員と食事を囲んだり談笑したり、時には悩みを話したり、日常の関りを大切に、経済的、精神的に自立を目指して生活していきます。

【支援の内容】

- ①安心安全な生活の中で自立に向けての準備をします。
- ②子どもたちの気持ち、意思、選択を尊重します。
- ③退所後も関りを断つことはありません。心の拠り所となり続けます。

【大切にしていること】

- ①安心して当たり前の生活
過酷な環境を生きてきた子どもたちが安心して暮らせる温かな居場所を提供します。
- ②寄り添いながらの自立支援
子どもたちは自ら働いたお金で、保険料、税金等も支払い、退所後に生活していく資金をためなくてはなりません。そんな難しい現状に置かれた子どもたちに常に寄り添い、時には励ましながら自立に向けた準備を共に行っていきます。

【アフターケア支援の内容】

ホームを退所した後も困ったことがあればいつでも相談できる場であり続けます。就労支援、行政手続きのお手い・通院同行・不動産への同行等

- ・門限 23時
- ・携帯電話 条件付きで可
- ・外泊 条件付きで可



ひこね



もみじ

LASO日野

蒲生郡日野町 電話番号075-555-3454 【定員】16名

私どものホーム「LASO日野」では子どもたちにとって「安心できる場所」であり「守られている」と感じられる環境を第一に運営しています。

子どもたちの「心の安定を保つ」為に、ホーム内の約束事は出来る限り最低限にとどめ、「気の休める場所」「自然とOFFの状態にいられる場所」であることを大切にしています。

ホームを卒業した子どもたちがいつでも遊びに来て話を聞かせてくれるような、そんなホームであり続けられるように日々子どもたちと向き合っています。

<子どもたちへ>

ホーム内にスタッフが24時間常駐しますので、いつでも嬉しかったことや悲しかったことなど、どんなことでも話してください。困ったときは助けてもらい、甘えたいときは甘え、そして楽しみも共有していきましょう。

「協調性」＝「相手を尊重できる力」が育つように、ホーム内の生活で他の子どもたちやスタッフとの関わりを通して、どのような行動が望ましいのかを考え、失敗と成功を繰り返しながら少しずつ力をつけていきましょう。

「主体性」＝「自分で決められる力」が育つように、自分にあった段階的な計画をスタッフと一緒に考え、少しずつその目標をクリアしていき、力をつけていきましょう。

ホームでの生活を通して、「協調性」「主体性」がなぜ必要なのかを自分自身で考え、その答えに辿り着いてもらえるように私たちスタッフはいつもそばで見守り、サポートするので一日一日を楽しみましょう。

- ・門限 23時
- ・携帯電話 条件付きで可
- ・外泊 条件付きで可





いつもあたたかいご支援をありがとうございます



大学等に合格しました🌸

令和7年4月より3名の若者が大学・専門学校に進学いたします。
進学するために自分と向き合い続けた本人たちの頑張りはもちろんですが、ご支援いただいているからこそその選択肢だと、若者をはじめ職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、4月の入学式に向けてスーツ等も購入させていただきました。

一般社団法人ゆめさほ様、クジラ育英会様 進学応援プロジェクト
朝日新聞厚生文化事業団様主催、カリヨン子どもセンター様協力 まなび応援金
四つ葉のクローバー みらい基金より
本当にありがとうございました。

身体は食べた物からつくられる！

毎週水・土曜日、フードバンク滋賀様よりご支援
いただいています。

夢コートに住む若者を気遣う言葉を
よくかけてくださいます。

食事提供のない休日にはいつも食材を活用させて
いただいています。

全てボランティアで運んでくださるスタッフの方、
フードバンク滋賀の皆さま
いつも本当にありがとうございます。



「出来立てを」という想いに感謝

「近くに住んでいるから」と
いつも採りたての野菜

出来立てのお正月のお餅を届けてくださる！様。
「出来立てを食べてほしいから」という言葉と共に
いつもあたたかい気持ちになります。
いつも本当にありがとうございます。



クリスマスに特別ご飯

ドミノピザ様より、
ピザ弁当をいただきました。
クリスマスの良き思い出となりました。
いつもと違う食事に若者も喜んでおりました。
とても美味しかったです。
ありがとうございました。



キムチギャラリー様より 美味しい本場の味

キムチギャラリー様より、
今年度もたくさん美味しいキムチと冷麺
をいただきました。直々に釣って送って
くださる新鮮な鯛も本当に美味しいで
す。また、24年度はお店の方にも訪問さ
せていただきました。いつも本当にあり
がとうございます。



吉澤ステーブル様より 寄付金で購入しました

吉澤ステーブル様よりいただいた寄付金で
電気ヒーターと貸し出し用の自転車を
購入しました。寒いリビングや脱衣所が
快適になりました。新しいピカピカの
自転車も喜んでくれました。
本当にありがとうございます。

多くのご支援をありがとうございます (敬称略・順不同)

寄付及び物品寄付

キムチギャラリー 西原 茂光 岡本 将宏 (社)モンド川本航平 竹中 國弘 中西医院 松村 睦子 平野 耕三
平野 ゆかり 中村 吉昭 西山 邦輔 米倉しげ美 國俊 和子 長野 浅芳 荒川 喜子 井上 一子 井之上 千穂
高田 三代子 間宮 崇弘 今井 克己 宅間 厚 竹中 明子 降幡 めぶき 新田 紀之 岩本 弘子 森田 恵美子
吉田 里美 小野 寺章 柿添 かおる 林 武司 打田 絹子 山田 眞二 山内 美香 旭 健一 寺田 静枝 水野 和幸
宮塚 麗子 中山 理恵 伊藤 芳美 佐伯 昌美 高橋 謙二 大橋 恭代 竹内 かよ子 上里 清美 奥 剛
名古屋区津島市更生保護女性会 春日井市更生保護女性会 日本電気硝子株 蒲郡市更生保護女性会 夫 龍一
岡崎市更生保護女性会 三田市更生保護女性会 市川 悦久 特定非営利活動法人ドネーションシップわかちあい
黒崎 隆一 森 恵子 田中 靖雄 甘庶 裕之 橋口 あかり 藤ケイヤマ商店 馬場 善治 曾我 佐登子 伊藤 まさ美
杉田 依嘉子 伊香 平和 ミュージックセラピーオンタイム 桑原 寛 横川 和弘 大池 和成 田中 花子
伊藤 百代 黒坂 早由 富田 佳子 藤セレンディビティ高橋 美江 フードバンクしが

定期サポート

細谷 卓爾 油藤商事株式会社 竹中 國弘 西川 直治 西川 典子 田中 真穂 上岡 正直 曾我 昭彦 大西 由紀子
山崎 征浩 長山 弘範 南 美幸 (有)クエストセブン (有)タイム 中井 智美 森垣 ゆかり 松村 美智子 山田 容
濱口 裕美 株R&P 新井 豊 西藤 薫 内海 早苗 奥 美智子 三浦 清忠 杉山 健二 中嶋 光男 山脇 克哉
小泉 なお子 平中 繁一 岡本 将宏 金井 直人 今岡 陽子 木村 純代 平林 博子 岩原 和恵 伊藤 芳美
山寺 香 森田 真菜 須崎 直人 岡本 節子 西野 毅朗 高野 朋子 佐藤 和歌子 阿部 修一 寺島 豊 佐藤 幸恵
中村 一光 山田 眞二 荒木 恵美 赤澤 浩平 赤澤 千佳 竹若 美津子 奥山 直美

一括サポート

(医)ハート向田哲義 (公)平和堂財団 藤吉澤ステーブル

団体概要

【理事・正会員】

理事長 杉山 真智子
副理事 森重 重則
常務理事 森本 美絵 久保 憲二
理事 宮脇 宏司 打田 絹子 小川 泰江 石見 忠志 伊藤 五作 藤田 健二
監事 上里 清美 寺島 豊

個人正会員

鈴木 繁宏 小泉 洋司 太田 智真 山川 芳志郎 平井 壽一 坂下 真樹子 黒崎 隆一 松村 睦子 宅間 厚
寺島 京子 山川 勉 宮川 啓子 上里 真春 平野 耕三 平野 ゆかり 奥野 眞弓 喜田 由紀子 降幡 めぶき
山田 容 山口 浩次 柴原 明美 夫 一龍 杉山 健二 中井 美幸 川道 純子 新井 英司 小野 寺章

団体正会員

藤ウッドソレル 中西医院 元三フード株 ひろたに医院 (医)富田クリニック 藤行動科学研究所
(医)たちいり小児科医院 瀬田の唐橋総合事務所 大生産業 (有)タイム すぎやま内科

賛助会員

藤エフアイ 山下 弓 市田 茂広 藤ベイフォード 竹中 佳子 伊香 平和 NPO法人ゆうらいふ山田 登喜子
小牧 一美 石原 愛子 富田 由紀子 富田 和雄 佐伯 一恵 川崎 敏和 吉田 佐代子 市川 悦久 柿添 かおる
尾崎 佳代子 大道 有花 太田 宜子 小川 重和 漢 正史 西岡 光春 菱川 裕子 守山包装株 糸数 未希
原田 勢津子 小寺 順子 井上 まゆみ 宮口 ルミ子 日本キリスト教団近江八幡教会 佐伯 昌美



みらい基金 寄付のお願い

「親元で生活できない」「金銭的な援助が見込めない」など、経済的理由で将来の選択肢を諦めてしまわないために、四つ葉のクローバーを利用する若者の未来を応援する基金として設立しました。



ご協力お願いいたします

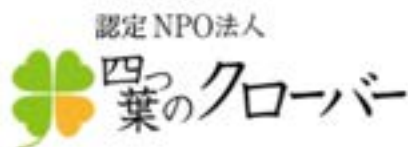


＜手続き方法＞
下のQRコードから支援サイトに
アクセスしていただけます。
支援サイトでは1口1,000円から金額を
お選びいただけます。
銀行口座から毎月引き落としをご希望の方は
当法人へお問い合わせください。
銀行振込をご希望の方は下記口座までお願いいたします。

滋賀銀行 守山北支店 普通
口座番号 543754
口座名称 四つ葉のクローバーみらい基金
カナ表示 37ハノクローバーミライキキ



発行：2025年4月
編集：認定NPO法人 四つ葉のクローバー
所在地：滋賀県守山市守山2丁目15-25夢コート
電話：077-584-5688 または 080-6160-4280
URL：http://yotubanokuroba2013.com/
e-mail：yotuba2013@gaea.ocn.ne.jp



四つ葉のクローバー
公式Instagram



@YOTUBA1989